

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第101号(通算)

令和5年5月2日(火)発行

5月になりました。GWまったなかの学校。体調は万全ですか？今日は、体力テストや身体測定も行われます。体力や体格の変化に合わせた運動をいつも心掛けましょう。今年は、4月中旬頃から黄砂に見舞われました。5月の爽やかな風を感じたいものです。天気がよい日には、ぜひ日光浴を楽しみましょう。5月の連休明けに、皆さんの元気な姿と会えることを楽しみにしています。



1日遠足の様子

令和5年4月28日(金)

3年生は水族館、1・2年生はフラワーパークに出かけていきました。その写真を紹介します。



【4月のある日の校内風景】



校訓碑の裏



白いバラ



青紅葉



家庭クラブ発祥の地

学年朝礼の様子

令和5年4月17日(月)

【3学年】 高山先生の講話



最近チャットGPTがメディアでも多く取り上げられている。AIを使いこなすためには、AIは一般常識がないため言語で具体的に指示しなければならない。また、AIは完全に正しい答えを出すことは不可能なので、回答を読み確認する能力が人間に必要。今後、AIと共存する社会が予想される。以上のことを考えると国語力が非常に大切。そのこともあり、最近の入試において、各教科とも多くの文書を読みこなす必要がある試験になってきているのでは。以上のことを考えると、今頑張っているであろう勉強は、進路実現のだけのためではなく将来のこともつながっていく。また、AIに依存しすぎると創造的な行為が難しくなる。考える力が衰えないようにするためにも、言語表現をAIに任せきりにせず人間も続けるべき。

しっかりと基礎基本を大事にしっかりと勉強しましょう。

【2学年】 有園先生の講話



・「桜染め」の淡いピンク色の素は桜の木のどの部分からとるのか？

桜の木の幹の皮枝を細かく切って2時間ほど煮出す。1時間ほどねかし、布を浸し、乾かすと美しいピンク色に仕上がる。

→「桜の木」は、美しい花を咲かせるため

に、冬の間、あるいは1年かけて自分の幹に色の素を蓄えている。

・我々人間も同じ。来年度は進路実現を自ら図っていかなければならない。

そのためには、まずこの1年間に受験を乗り越えるための力をしっかり蓄えることが必要。この1年をいかにすごすかが非常に重要。

・まずは学力。日々の復習、予習、課題プラスアルファの取り組み。1日1日の積み重ねが力につながる。イチローの言葉「夢や目標を達成するには1つしか方法はない。ちいさなことを積み重ねること」

・IT化、めまぐるしく変化している時代。10年後、20年後、今ある仕事の約半分近くが無くなるといわれている。そこで必要となるのが、幅広い知見とスキル、人間力。

その力を蓄えるためにも、検定に挑戦。ボランティア活動や地域の行事に参加。読書。

→今年度1年間がチャンス。何か1つでもよいから、積極的に挑戦して自分の人間力を高めよう。

・2学年は、中堅学年。素晴らし伝統を引き継ぎながら、いろいろな場面でリーダーシップをとり、盛り上げていこう。

【1学年】 中須先生の講話



持ち物に記名をしよう。

筆記用具とメモを持ち歩こう。

報・連・相を先週に引き続き意識しよう。

学校生活に慣れていく2週目は、挨拶を意識しよう。自分の主張や先走って、あいさつ、声かけを忘れないようにしよう。

廊下やあちらこちらで、挨拶を交わそう。挨拶は「他を認める」ということ。

学校生活に慣れていく時に、軽口や冗談で友だちを傷つけないように意識しよう。

2人以上いれば、そこは「社会」。古代中国では「人間(じんかん)」と言っていた。人間は社会的動物である。「慣れ」てほしいが、「狎れる」にはなってほしくない。